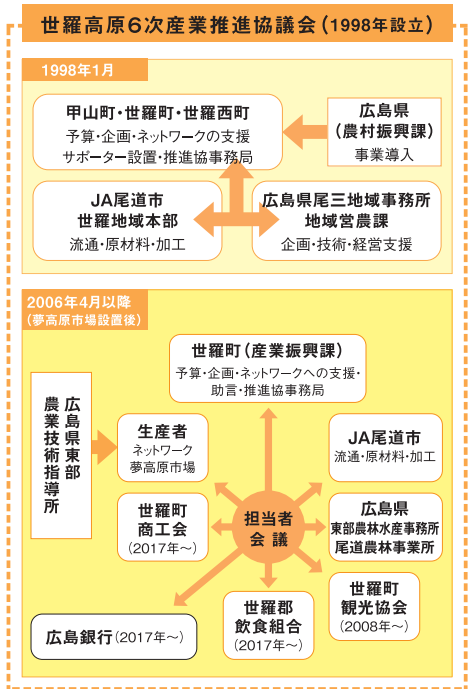
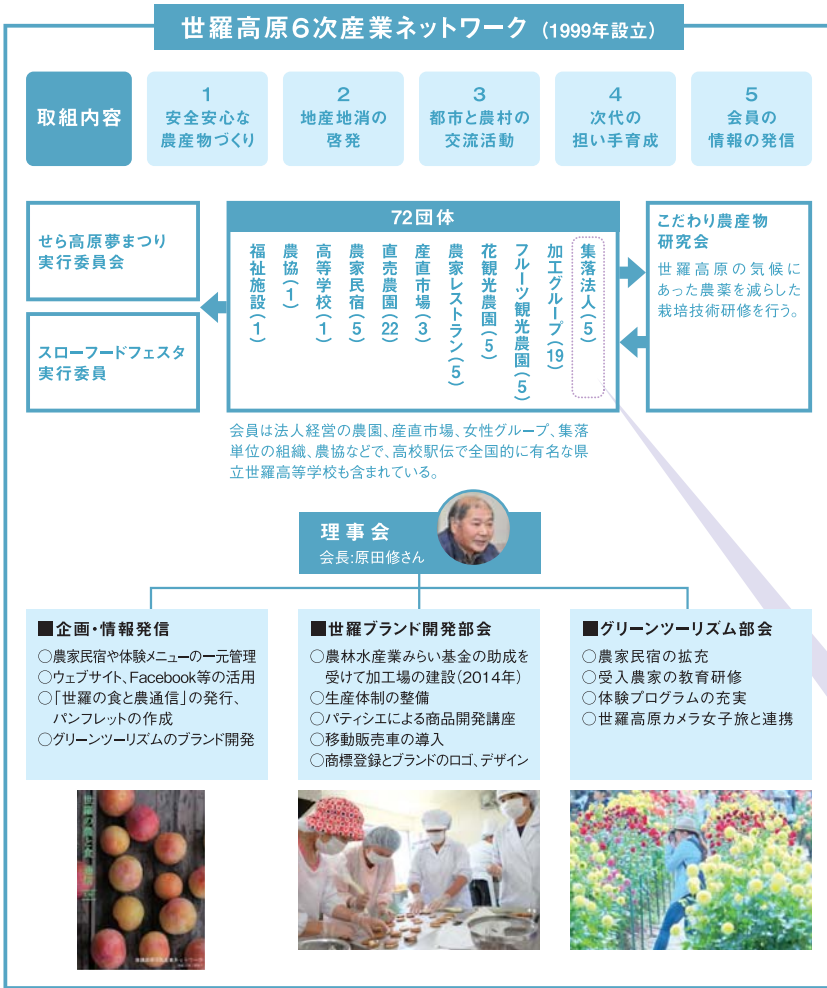



# 世羅高原6次産業ネットワークに関わる6次産業化連携図



●農業組合法人 聖の郷かわしり(旧・甲山町)

収穫したアスパラやジャガイモ、玉ねぎを使って、ドレッシングやコロッケなどを製造・販売。コロッケはワイナリーのレストランメニュー、世羅御膳の一品にも使われている。アスパラ祭りを開くなど地域との交流もはかっている。




**せら県民公園**

「県民のやすらぎ交流拠点」を基本テーマに、地域交流や自然とのふれあいを通じ、心身のリフレッシュを目的とした公園



せら夢公園で9月に開催される「フルーツ王国 せら高原 夢まつり」では、2日間にわたりフルーツの直売のほか、郷土芸能の披露など様々なイベントが行われ、約2万人を集客している。4月には「フラワー王国夢まつり」も開催される。

**せら夢公園**

広島県が事業主体の「せら県民公園」、世羅町が事業主体の「せらワイナリー」の2つの施設を含んだ総称

[指定管理:(株)セラアグリパーク]



さこ じゅんこ  
佐古 淳子 さん(70)

協同組合 夢高原市場 理事長  
世羅高原6次産業ネットワーク理事  
世羅生活研究グループ会長

京都から嫁ぎ、ご主人と共に農事組合法人 太平洋牧場を経営。300頭の乳牛を飼育しながら、無添加・無着色のハム・ベーコンの製造・販売も行う。堆肥作りにもこだわり、産業用ロボットを導入し量産体制も図っている。6次産業化の話聞いたとき、「女性の生きがいになる!」と直感したそうだ。



はらだ おさむ  
原田 修 さん(62)

世羅高原6次産業ネットワーク 会長

2014年より世羅高原6次産業ネットワークの6代目会長に就任。全国でも有数の果樹園で、世羅梨(せらなし)のブランド化に大きな貢献を果たした「農事組合法人 世羅幸水農園」の組合長理事も務める。世羅幸水農園は、観光農園としての展開、加工品の製造・販売、後継者育成のため独自の奨学金制度を導入するなど、世羅高原の6次産業化を常にリードし続けている法人。

世羅ブランドの新商品の味を決定するミーティングの風景。世羅高原の6次産業化は女性たちのチカラによって支えられている。



## 6次産業化に 生きがいを見出した 女性たちのチカラ

夢高原市場の理事長・佐古淳子さんは、長年継続し、成長を続けた世羅高原の6次産業化について、「キーワードは女性のチカラだと思います」と話す。「この地域では30年以上も前から、女性たちによる農産物の加工が盛んに行われてきました。作ったものが売れる喜びもありましたが、仲間が集まり家族や地域のことを話し、困っている人がいれば手を差し伸べる。女性たちにとって6次産業化はそんなコミュニケーションの場であり、やりがいや生きがいにもなっているのではないのでしょうか」と佐古さん。

世羅高原6次産業ネットワーク会長の原田修さんも、「それぞれの地域で、女性たちが取り組んでいた小さな6次産業化があったから、現在の世羅高原の6次産業化があるのだと思います。キメ細やかな商品作りや、柔軟な発想や対応力は女性ならでは。世羅の女性たちのチカラは大きいです」と話す。

最近の取組でも女性たちが活躍している。ネットワークの新商品「Sera-Riz」は、パティシエの講習を受けたお母さんたちが本格的に開発に取り組んだ6次産業化の商品。

地元のお米とぶどう、ワインを贅沢に使った手作りのバターサンドで、世羅のブランド力の向上を目指している。

また、ネットワークの3つの部会をサポートするため3名の女性が採用された。その一人である吉宗五十鈴さん(40)が主宰する「世羅高原カメラ女子旅」は、写真家の先生とともに撮影を楽しみ、農家民宿に宿泊する。撮影の合間には体験メニューも盛り込まれたグリーンツーリズム企画で、全国からカメラ好きの女性が参加。世羅の魅力を全国に発信するツールとして、また地域への滞在時間を増やす取組として貢献している。

世羅町では、2017年2月に「世羅町6次産業化戦略」が策定されたところである。今後の世羅高原の6次産業化について、原田さんは「協会、行政との連携は引き続き行っていくますが、一方で、事務局が町の役場から夢高原市場に移行していることから、独自の運営体制の強化を求められています。これまで農業者だけで推進してきたネットワークの活動でしたが、豊かな農村公園づくりのためにも、観光協会や商工会議所など、異業種との連携も図っていきたくないと考えています」と話す。



### 世羅高原6次産業ネットワーク事務局

広島県世羅郡世羅町大字黒淵518-1  
協同組合夢高原市場内  
TEL:0847-25-4304  
<http://www.serakougen.net/>

### 協同組合夢高原市場

営業時間 9:00~17:00  
(1・2月は10:00~16:00)  
定休日 4月~11月は無休。12・3月は火曜日、  
1・2月は火・水曜日  
TEL:0847-25-4304



世羅高原6次産業ネットワークの組織が見直され、主に3つの事業を推進していくために、世羅町在住の3人の女性が採用された。右から、事務局長でグリーンツーリズム部会をサポートする折重りつ子さん(54)、企画・情報発信の責任者で、「世羅高原カメラ女子旅」主宰の吉宗五十鈴さん(40)、世羅ブランド開発部会をサポートする橋高知栄さん(44)。



「農家民宿にわか」を営む宮川哲二(みやかわてつじ)さんと奥様の真理さん。米、野菜以外にも、自家製の味噌、こんにゃくなどを宿泊メニューとして提供。哲二さんは、世羅町の役場を退職後、新規就農。2014年4月~2015年12月の期間は、世羅高原6次産業ネットワークの事務局長も務めた。真理さんは、新たな世羅ブランドとして注目されている「Sera-Riz(せらり)」の製造にも携わっている。